

自治体DXに向けた  
取り組み

**問** 学校運営や自治会、消防署や消防団の組織の中で、ペーパーレスや押印の削減に向けた取り組みを推進すべきと感じる。行政効率や仕事を減らす環境改善の視点から見て、また、市役所庁舎内だけでDX（デジタルトランスフォーメーション）を進めるのではなく、まちづくりとして住民の生活向上のため、市役所の進んだ取り組みを横に展開していく強いメッセージを発信すべきでは。

**答** デジタル化への取り組みをさらに浸透させていくためには、市が取り組むペーパーレス、電子申請、テレワーク、BPR（業務内容などを抜本的に見直す）研修など、DXに関する情報や技術を民間団体にも広く提供することが必要であるため、研修会などを実施していきたい。



保育所等入所申込申請書が押印不用に

事業承継で  
担い手不足解消を

**問** 次世代に経営を譲りずに解散・廃業する企業が増えている。市は、企業誘致や起業支援とともに事業承継について今後支援する考えはあるか。

**答** 県を中心に、商工団体や金融機関などで構成する事業承継ネットワークを活用し、マッチング支援や今後の事業承継の推進を支援していきたい。

浅羽海岸の防災対策を

**問** 防潮堤建設の進捗状況と今後の建設工程はどうか。

**答** 浅羽海岸の延長5・35キロメートルのうち、令和2年度末までに、市の施工分4・15キロメートル、県の施工分4・02キロメートルが完了する。防潮堤未整備の湊地区と中新田地区は、小笠山工業団地造成の発生土20万立方メートルを活用し、令和5年度完了を目指している。

**問** 浅羽海岸浸食対策の静岡県サンドバイパスシステムは効果が限定的であり、緊急対策としてダンブカーによる土砂の運搬を検討できないか。

**答** サンドバイパスシステムによる土砂の移動は、年間移動目標の8万立方メートルには達していないが一定の効果はある。自転車道の浸食箇所は、県と協力し保全を図っていく。



サンドバイパスと浅羽海岸浸食

教育施設の更新に  
地域の声を

**問** 浅羽中学校南校舎跡地に将来、施設一体型の小一貫校の校舎を建設し、浅羽南小学校と笠原小学校の統合を検討する場合、地域の声を反映する仕組みを考えて欲しい。

**答** 現段階で学校を統合する具体的な計画はない。学校の統合については、地域の意見を伺いながら判断すべきものと考えている。

シニア層への伴走型  
活動支援

**問** 各コミュニティセンターで、シニアクラブの事務的機能を担えないか。

**答** シニアクラブ袋井市と連携し、書類の簡素化や役員会の在り方などの負担軽減や、現在の組織体制の抜本的な見直しなど、将来に向けた方向性について検討していく。

消防団を中核に地域  
防災力の充実強化を

**問** 消防団員の定数や装備の改善など、具体的な数値目標を含む検討を行い、消防団の体制に関する中期的な計画策定が必要では。

**答** 団員の負担軽減や活動しやすい環境づくりを支援するとともに、団員確保に向け消防団と協議し、中期的な計画策定について検討していく。



消防団の放水訓練

エコパに  
公式野球場建設を

**問** エコパ圏域の市町を取り込んだ、公式野球場建設に向けた可能性調査への取り組みが必要では。

**答** 公式野球場建設に向けては、県の意向も確認する中で、近隣の磐田市や掛川市などの意向も伺いながら、今後、調査研究していく。